

学力向上を目指して



この度、平成31年度全国学力・学習状況調査（平成31年4月18日実施 対象：小学6年生、中学3年生）の結果が示されました。これは、学力や学習状況を測る一つの指標ですので、調査結果を真摯に受け止め、課題を共有して、学校や家庭における「子どもの学び」に対する意識を高めなければならないと考えています。一人一人の子どもの力を最大限に引き出し、学力を身につけさせることが、子どもの自尊感情を高め、将来を切り開く原動力となるという思いに立ち、教育委員会と学校、家庭、地域が、それぞれの立場から連携して子どもたちの学力向上を図りたいと考えています。

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果

1 教科に関する調査

(1) 結果の概要（今年度からA問題・B問題が統合されました。）

【小学校】

調査問題	平均正答率		
	西海市	長崎県	全国
国語	56	61	64
算数	62	65	67

【中学校】

調査問題	平均正答率		
	西海市	長崎県	全国
国語	70	73	73
数学	55	60	60
英語	51	54	56

※県、市における平均正答率は、小数点以下を四捨五入した整数表記となっているので、全国の平均正答率においても、四捨五入した整数表記にしています。



(2) 調査結果にみる本市の課題

教科ごとに、次の項目に課題が見られました。

◆国語

- ・既習の漢字を文中で正しく使うこと。(小)
- ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと。(小)
- ・インターネットを意味する「ネット」などの、語を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解すること。(中)
- ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること。(中)

◆算数・数学

- ・四則の混合した計算が正確にできること。(小)
- ・計算の仕方や面積の求め方の説明を言葉や数を用いて記述すること。(小)
- ・関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。(中)
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。(中)

◆英語

- ・英文を聞き取り把握した内容を踏まえて、自分の考えを書くこと。
- ・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解すること。

2 質問紙調査

(1) 児童生徒質問紙（一部抜粋） *******・・・全国を大きく上回る ******・・・全国を大きく下回る

	(%)	平成30年度				平成31年度			
		小学6年生		中学3年生		小学6年生		中学3年生	
		本市	全国	本市	全国	本市	全国	本市	全国
1	人の役に立つ人間になりたい	92.7	95.2	97.2	94.9	97.3	95.2	96.1	94.3
2	いじめはどんな理由があってもいけない	96.9	96.8	97.1	95.5	97.9	97.1	97.2	95.1
3	自分には、よいところがあると思う	85.3	84.0	84.8	78.8	80.2	81.2	78.1	74.1
4	先生は、あなたのよいところを認めてくれている	85.3	85.3	89.1	82.2	88.8	86.1	79.2	81.5
5	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	65.5	67.6	51.7	52.1	70.0	71.5	46.6	50.4
6	学校の授業時間以外に、平日1時間以上（中学3年生は2時間以上）、学習をしている	56.6	66.2	20.4	36.4	67.3	66.1	23.0	35.5
7	朝食を毎日食べている。	92.7	94.5	96.7	91.9	97.3	95.3	94.3	93.1
8	学校の授業時間以外で、平日、1日30分以上読書をしている	37.2	41.1	31.3	30.9	39.0	39.8	33.7	26.7
9	昼休みや放課後、学校が休みの日に、学校図書館・学校図書室や地域の図書館を週1回以上利用している（H30は質問項目なし）	(H29) 23.6	(H29) 15.6	(H29) 23.2	(H29) 8.1	31.5	17.2	33.7	8.3
10	将来の夢や目標を持っている	87.9	85.1	73.0	72.4	88.3	83.8	65.7	70.5
11	学校に行くのは楽しい（H30は質問項目なし）	(H29) 84.3	(H29) 86.3	(H29) 84.2	(H29) 80.9	89.3	85.8	81.4	81.9
12	今住んでいる地域の行事に参加している	72.7	62.7	59.7	45.6	82.9	68.0	72.5	50.6
13	地域や社会のために何をすべきかを考えることがある	43.4	49.9	41.7	38.7	50.3	54.5	49.4	39.4

(2) 調査結果にみる本市の児童生徒の傾向と課題

- 「人の役に立つ人間になりたい」「いじめはどんな理由があってもいけない」と回答した児童生徒の割合は全国を上回り、道徳性や規範意識の高さが見られる。
- 地域の行事への参加率が小・中学校ともに高い。中学生は「地域や社会のために何をすべきかを考えることがある」と回答した生徒の割合が全国を大きく上回っている。
- 中学生は平日30分以上読書をする生徒の割合が全国を大きく上回っている。また、小・中学校ともに、授業以外でも図書館や図書室をよく利用している。
- 小学校は、平日1時間以上家庭学習をする児童の割合が大きく増加した。
- 中学校は、平日2時間以上家庭学習をする生徒の割合が全国を大きく下回った。また、自分で計画を立てて家庭学習をしている生徒の割合も全国を下回っている。

西海市の児童生徒のよさである規範意識の高さや地域との良好な関係性、読書に親しむことのできる環境を生かし、目標をもち、授業に意欲的に取り組む児童生徒の育成を図ることや、家庭や地域の協力を得ながら、家庭学習の時間や質を改善していくことが西海市の課題です。また、目的や意図に応じて自分の考えを書くなどの、書くことをはじめとした表現する力の育成を図ることも西海市の課題です。

学力向上のために

◇全国学力・学習状況調査の結果から、次のような子どもが、学力が高い傾向にありました。
 時期を見て、自分の姿と照らし合わせて5段階で自己評価をさせるとともに、それに対して保護者から励ましの言葉を贈るなど、御家庭で活用ください。

【自己評価日：令和元年 月 日】



	具体的な姿	自己評価
1	朝食をとり、決まった時刻に起床・就寝するなど、生活のリズムが整っている。	
2	家庭学習の時間を確保し、家で計画を立てて学習している。	
3	新聞を読むなど社会の出来事に関心を持ったり、一日の出来事について家族とよく話をしたりしている。	
4	難しいことにも挑戦し、最後までやり遂げている。	
5	意見を発表したり書いたりするときには、理由（根拠）をはっきりさせたり、表現の仕方を工夫したりして、分かりやすく伝えている。	
6	自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	
7	授業で問題を解くときなどには、「なぜそうなるのか」「他の方法はないか」ということを考えている。	

★自己評価
 5：よく当てはまる 4：だいたい当てはまる 3：ときどきは当てはまる
 2：あまり当てはまらない 1：全く当てはまらない

保護者からのコメント

学校の取組

◇学校では、全国学力・学習状況調査の結果を受け、次のような授業に努めます。また、学校の課題に応じた学力向上アクションプランを作成し、着実に課題解決に努めます。

- 授業のはじめに学習のめあてを設定し、授業の終わりに「できるようになったこと」と「まだ、できるようになっていないこと」を確認し、まとめる。
- 授業内容を振り返ることができるような、子どもに分かりやすく効果的な板書を行う。
- 子どもの努力や伸びたことを積極的に認め、学習意欲を高める。
- 子どもから複数の意見が生まれるような問いを発し、その共通点と相違点を明らかにしながら、より良い意見となるよう考えさせる。
- 「なぜそうなるか？」について考えさせ、子どもに言葉で説明させる場面を設定する。
- 「総合的な学習の時間」において児童生徒自身が自分なりの課題を設定でき、課題を解決するために調べ、追究できるような学習の流れにする。
- PTAと連携し、家庭学習の質や量の充実を図る。

西海市の取組

◇西海市教育委員会では、昨年度から取り組んでいる「西海市 AI(あい)プラン (Academic Improvement Plan)」に加え、「学びの土台づくり推進事業」を立ち上げ、西海市小・中学校校長会と協力しながら、子どもたちの力を伸ばし、自信をつけさせるため、以下のような取組を推進します。

【西海市 AI(あい)プラン (Academic Improvement Plan)】

- ・「わかる授業」、「魅力ある授業」、「達成感のある授業」づくりの基盤となる教員の授業力を高めるために、学力向上スーパーバイザーを定期的に学校へ派遣し、指導助言等を行う。
- ・小学校は5、6年生を対象に漢字検定を、中学校は全ての生徒を対象に英語検定を年間2回実施する（費用は市が負担）。
- ・西海市教育委員会が作成した「授業実践の視点」や「学力向上のためにすぐに取り組める授業改善対策」を全教職員に示し、それに基づいて具体的な授業を展開するよう指導する。
- ・中学校区ごとに、教員による「小中連携検討チーム」をつくり、定期的に、中学校区ごとに「小中連携検討会」を開く。共通実践事項の検討等を行うことにより、小・中学校が連携した授業改善や家庭学習の充実が図られるようにする。

【学びの土台づくり推進事業】

- ・「互いに認め合い、高め合う学びの実現」「書く力をはじめとした表現する力の向上」という、全ての教科の学習に通じる力の育成のための学級づくりや授業改善につながる講演会や授業研究会を実施する。

【その他】

- ・メディアやSNSとの適切な関わり方について、研修会等を開催し、啓発を図る。
- ・ICT教育を充実させるなど、教育環境の整備に努める。